2 月 15 日（水）中学部校内研究

【今年度の取り組み】　①目標に着目した授業改善（目標が妥当がどうか）
②評価シートを使った目標の見直し
③「主体的・対話的で深い学び」を意識した手立ての工夫

1）今年度の研究での取り組み方はどうでしたか。

〈成果〉

・生徒一人一人の１時間ごとの目標をしっかりと考えて授業を行うことで、その時間に何を学んでほしいのかが明確になった。
・目標を見直してそれをもとに授業を見直すという流れ自体は目指す姿に近づき、かつ机上のみの検討にならず実際的に取り組むことができたと思う。
・年計の見直しをすることができた。
・授業毎に目標の確認を複数の目で行えたこと。
・目標の明確化がされ、「◎・○・△」で評価を行うことにより目標が妥当かどうか、何を改善しなければいけないのかはっきり示すことができるようになった。
・毎回の授業（目標）が生徒にとってどうだったか、どう見直すか考えることができて良かった。（目標の視点を変える、手立てなど）
・評価シートの活用により、どの授業でも振り返り、見直しが定着し、かつ観点や取り組み方がある程度統一されてきた。
・今までも行ってきたが目標の見直すことを意識できるようになった。（理論立ててできるようになった。）
・授業改善をしようという意識は高まった。目標が適切かどうかの確認になった。
・日々の取り組み方にズレがなかった。
・授業の前後で授業の取り組み方、目標の確認できた。
・全体的にしっかり取り組めてたと思う。

⇒授業の記録シートを使うことで目標について今までより考えるようになったこと、目標の見直しがあることでぶれが少なく手立ての見直しの際の視点もはっきりとしたことが成果。

〈課題〉

・①と②の取り組みを③につなげることができなかった。（個人的に）
・閉校に伴い研究の期間設定にズレが生じ、結果として現在の主題になった点は学校の課題。
・今までやってきたことは「主・対・深」について深め（理解）足りなかったように思う。「主・対・深」とは何かについて全員が答えられるだろうか。
・個別の授業→反省が自分だけになってしまった。他の先生方から意見をもらえたらもっと良かった。
・③について、理解が不足していてそのように設定できなかった。（正しい発問や目標の設定など）
・評価の際に「◎・○・△」どれに当てはまるか迷うときがあった。（割合）
・職員の入れ替わりがある環境なので、何年も前の研究をベースにした話は難しいと思う。
・「主・対・深」について指導要領に書かれてあるが、本校の研究での取り組みも交えると、分からない職員が多くなってしまう。過去におさえた内容を振り返る時間がもう少しあったら良かったのではないか。
・自立活動→取り組みが難しかった。

⇒過去の取り組みをもっと丁寧に扱うべきだったこと（主に「主・対・深」）、そのため手立ての工夫について深め足りなかったことが課題。

2）各授業で生徒に身に付いたこと、できるようになったこと

・自活…継続的に運動を実施したことで身体機能を維持・向上することができた。

・数学…数えることへの苦手意識がなくなった。一人で学習に取り組むことへの自信がついた。日にちなど数字への意識が高まった。
数を指で表すことが上手になってきた。（今まで苦手だった 3・4 も出せるようになってきた。）数字をかけるようになってきた。（見本を見ないで書けることもある）
※他の授業や場面でも取り組んだ成果も大きい。

・生単…北海道地図から自分たちが住んでいる場所が分かるようになった。

・音楽…身体表現、器楽において今まであまりやっていなかった動きやリズムを使った表現ができるようになってきた。音楽に関わって楽しむ素地ができていると考えられる。同じ曲を一定の期間継続して取り組むことで笑顔になるなど音楽に豊かに関わる態度養われた。合わせる（終わりが分かって揃う）

・国語…自分の名前以外のひらがなでも何も見ないで書くことができる文字が増えた。
「よ」「い」「た」を 4 つくらいの中から選べることが増えた。

・体育…持ち続ける活動を意識して続けてきた。他の授業との兼ね合いもあるが、持つ力は向上したように考えている。
運動時の姿勢や活動を持続する体力・短時間での爆発力のようなものがあがったと思う。
※体育の内容的に同じものを 1 年間行っていない。からだや日生など他との兼ね合いもある。

・美術…共同制作を行う機会が多く、生徒同士の協力的な姿勢、助け合いができるようになってきた。

・作業…意欲や自己肯定感の向上。友達・仲間を意識（良きライバル思いやる）する気持ち。
タイルの色（3 色）を確認して並べることができるようになった。

・英語…1～5 までの数の理解が深まった。歌や映像に合わせて動くことによって簡単な英語での指示（「Clap your hands.」「Round」「up/down」など）に応じて動けるようになった。
「How is the weather?」と聞かれてほぼ間違えることなく今の天気と一致するイラストを選び取ることができるようになった。

3）仮説について

・目標を見直して適切な目標が設定された上で、手立て等を工夫する授業改善を行うことは、生徒へ身に付けさせたい力を育むことに繋がっていた。